

Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り

第 58 号 (2026 年 8 月 14 日発行)



本号の内容

- ・尾上秀雄さんを偲んで
- ・世界マスターズオリエンテーリング選手権のエントリーが始まりました
- ・ジュニア世界オリエンテーリング選手権(JWOC2026)報告
- ・世界オリエンテーリング選手権(WOC2026)報告
- ・今後の公認大会・講習会のお知らせ

●尾上秀雄さんを偲んで

当協会の事務局長や監事等の役職を務められた尾上秀雄さんが、7月29日に逝去されました。6月のJOA表彰式で長年に渡る功績について表彰されたばかりでした。

中でも2005年から2011年まで事務局長として、現在の事務局体制の礎を築いていただきました。また強化委員会においては、ジュニア選手の育成やスプリント競技の研究・発展に大きく貢献していただきました。2021年には、「スプリントのコース設定」のタイトルでオンラインセミナー講師を務めていただきました。YouTubeにてアーカイブを公開しています。

<https://youtu.be/l8sguy5Ce0?si=VlzktxMnwa8D8N2Q>



●世界マスターズオリエンテーリング選手権のエントリーが始まりました

7月25日より、世界マスターズオリエンテーリング選手権(以下、WMOC 2027)のエントリーが始まりました。WMOC2027は関西ワールドマスターズゲームズ2027(以下、WMG2027)の一部のため、参加を希望する方は、WMG2027への参加登録が必要です。

オリエンテーリングのみに参加される場合は、まずIOF Eventor(イベント管理システム)でのユーザー登録とイベントエントリーが必要となります。詳細については、下記のWebページをご覧ください。

https://wmoc2027.jp/ja/get_started/entry/

現在、ポーランドでは8月8日から14日の日程で今年のWMOCが開催され、PRブースを開設しました。用意したブリテンやチラシはあっというまになくなりました。宿泊や移動手段、訪れるべき観光名所など、多くの質問を受け、関心の高さを感じると同時に、彼らが楽しめる大会提供への意を強くしました。



～地図を手に、明日へと駆ける～

●ジュニア世界オリエンテーリング選手権(JWOC2026)報告

(U-20 ヘッドコーチ 石澤俊崇(栃木県協会))

6月28日～7月4日にスウェーデンの Karlskrona で開催された JWOC2026 に、男子6名、女子5名のメンバーで挑みました。今年のチームは早生まれの大学3年生が男女合わせて5名という反面、高校生は1名のみという構成で、U-20 チームとしてはベテラン(?)揃いでした。

Karlskrona は海軍の軍港がある港町で、フォレスト種目のテレインも海に近い、基本的に平坦な地形が広がるものでした。真っ直ぐ行くだけで簡単にコースを回れそうにも見えますが、実際には現在地の把握が難しく、海外の選手も苦戦する、全体的に難度の高いテレインでした。Karlskrona も平年より気温は高かったようですが、朝晩は肌寒く感じるほど涼しい気候でとても過ごしやすい、充実した日々を送ることができました。

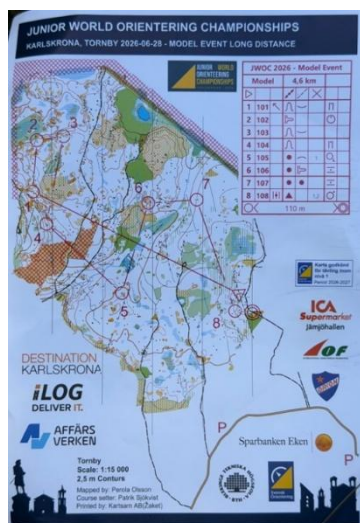


写真: Forest Long のモデルイベント地図(左)、開会式終了後の集合写真(右)

前述の通り、難度の高いテレインで行われた3日目以降のフォレスト種目では、予想以上に難しいコースだったこともあり、全体的に苦戦しました。しかし、選手たちは特殊なテレインに対して、直前の現地練習で学んだことを懸命に発揮してくれたと感じます。男子 Long の堀田(91位)の走りなどはその対応力に驚きました。

今年も多くのご支援、ご声援をありがとうございました。次は11月に中国で行われる AsJYOC でのジュニアチームの活躍にご注目ください。

大会 Web サイト: <https://orienteering.sport/event/junior-world-orienteering-championship-2026/welcome/>

※主な成績は5ページに掲載しています。



写真提供
下段中:大会オフィシャル写真より
それ以外:石澤氏

Forest Middle(左)、Sprint Relay(中)、Forest Sprint のスタート(右)

～地図を手に、明日へと駆ける～

●世界オリエンテーリング選手権(WOC2026)報告 (強化委員会 鹿島田浩二)

2026年のスプリント世界選手権(WOC)がイタリアのジェノバで7月6日から11日まで開催されました。日本からは男女各3名と2名のチームオフィシャルで参加しましたのでその報告をします。

今回の舞台となったジェノバは、古代ローマの軍港として、中世には貿易の起点として栄えた歴史ある都市です。「北イタリア三角工業地帯」の一つとして記憶のある人もいると思いますが、平野にあるトリノやミラノとは異なり、港と山塊との間に挟まれたジェノバは、聳えるような丘に所狭しと並ぶ建物の風景が特徴です。今回のスプリントは、その急な斜面を縫う路地と、少しの平らなエリアに広がる商業エリアを舞台に開催されました。

スプリントとフォレストの世界選手権が分かれ、交互に開催されてから3回目のスプリント選手権です。その間に競技のコンセプトや、特化して準備する選手などスプリント競技は少しずつ変遷しています。日本も史上初めて前年のWOC(フォレスト)と全選手が入れ替わりました。それだけフォレスト、スプリントに特化して準備する選手が増えていることを示しています。

日程は7月6日にモデルイベント、7日にスプリント予選決勝、9日にノックアウトスプリント予選、10日にノックアウトスプリント決勝ラウンド、最終日11日にスプリントリレーでした。

個人戦を振り返ると、最初の7日のスプリント予選では、女子で近藤選手が中盤までヒートのトップ近いタイムで走り、後半もミスを抑え危なげないレースで8位、予選通過しました。一桁の予選通過は日本人初となります。決勝は難度の高いレグが続く集中力の要求されるコースで、少し苦戦する場面もありましたが40位で大歓声の中ゴールしました。

9日のノックアウトスプリント予選は急な斜面沿いで坂と階段をつなぐダウンヒル基調のコースでした。男子では平岡選手がスタート直後にミスをしたものの、その後は冷静にノーミスで走り12位で予選通過しました。翌日の10日の決勝ラウンドでは個人スプリント優勝したKasper Fosserと同組で走り、6選手中5位という結果でした。決勝進出はなりませんでしたが、世界のトップ選手との走りを体感しました。



写真: IOF/Kristina Lindgren

今回近藤、平岡2名が決勝を走りましたが複数の選手が予選を通過したのはWOC2005以来のことです。その他の選手は予選通過こそありませんでしたが、予選通過圏内に十分入れるペースで走った選手もいました。後半のルート判断や瞬間的な集中力の途切れで命運を分ける厳しさも肌で感じました。また、繁華街では歩行者や車で現地の道やコントロールが見えにくい、という欧州スプリント特有の難しさも感じたようです。それぞれに課題は残りましたが、高いレベルのレースをしたからこそ感じ取れる課題でもあります。自分のレースをすれば結果を残せる、と手ごたえを感じた選手が多かったようです。



写真: 強化委員会

そして最終日11日のスプリントリレー、選手は個人戦のそれぞれの課題に向き合い、きちんと修正して、最高のパフォーマンスを発揮してくれました。

競技の舞台はジェノバ市街から北に聳えるケーブルカーで登るような丘にかけてでしたが、登りの強い日本選手にはむしろ強みを発揮できるコースでした。まず1走の近藤選手が一時はトップも見える位置で走り、30秒ちょっとの差の10位で2走二俣選手にタッチすると、二俣選手は世界トップレベルのニュージーランドの選手(Tim Robertson)とつかず離れずのレースを展開し、最後は前に出でなんと8位でタッチしました。そして3走の平岡選手はフィンランドなどメダル常連の国と競い合うも落ち着いたレースで流れ

に乗り12位で最後の桑原選手にタッチします。桑原選手は途中ポルトガルの選手に追い付かれるも、終盤のパターンが分かれた部分で先行して12位をキープしてフィニッシュしました。

レース中会場の実況は、なんども日本の大健闘を伝えていました。またフィニッシュ後も各国の選手、オフィシャルから祝福の声かけられました。従来のスプリントリレーの最高位は21位ですから今回の12位は世界から見ても驚きの結果だったと思います。

今回の世界選手権で、選手達は世界の中堅国と互角に戦える力があることを示してくれました。リレーを走った選手はもちろん、今回走れなかった選手、あるいは今後世界を目指す選手にとって大きな自信につながったと感じます。

強化委員会でも今回の結果を踏まえ、さらに世界で飛躍する日本チームを目指して、2028年のスペイン大会、あるいはその先を見据えた具体的な強化活動に取り組みたいと考えています。

最後に、財政面で支援頂いた皆様、事前の地図作成や練習環境の提供をしてくれた皆様、現地で応援していただいた観客の皆様、多くの方のご支援があつて今回の結果を残すことができたと感じています。本当にありがとうございました。今後も日本代表選手の活動への応援、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

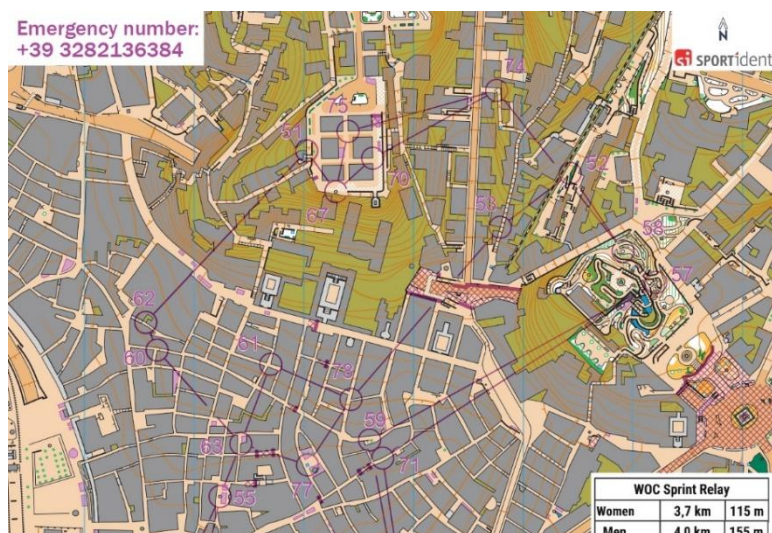


写真:大会公式サイトより

大会 Web サイト: <https://woc2026.com/world-championships-2026/>

※主な成績は 8 ページに掲載しています。

※8月31日にオンライントーク「WOC12 位への軌跡」を開催します。お気軽にご参加ください。

●今後の公認大会・国際大会・講習会のお知らせ (事務局)

2026 年

9 月 10-20 日	イベントディレクタ認定試験	
10 月 10-12 日	トータス 50 周年記念大会 [公認 F]	(山梨県)
10 月 11-12 日	ナビゲーション講習・スキル検定 シルバーレベル	(大阪府)
10 月 24-25 日	ナビゲーション講習・スキル検定 シルバーレベル	(埼玉県)
10 月 31 日	第 15 回全日本オリエンテーリング選手権大会(ミドル競技部門)	(長野県)
11 月 1 日	第 53 回全日本オリエンテーリング選手権大会(ロング競技部門)	(長野県)
11 月 15 日	第 35 回全日本リレーオリエンテーリング大会	(秋田県)
12 月 12 日	コーチ資格更新研修会	(オンライン)
12 月 19-20 日	コーチ資格更新研修会、コーチ 1 専門科目 集合講習会	(西日本)

2027 年

2 月 7 日	第 19 回全日本オリエンテーリング選手権大会(スプリント競技部門)	(東京都)
3 月 10-20 日	イベントディレクタ認定試験	
5 月 21-29 日	WMOC2027 マスターズ世界選手権、 World Masters Orienteering Championships(WMOC)	(兵庫県)
秋	第 16 回全日本オリエンテーリング選手権大会(ミドル競技部門)	(広島県)
秋	第 54 回全日本オリエンテーリング選手権大会(ロング競技部門)	(広島県)

2028 年

4 月 22-23 日	阿蘇オリエンテーリング大会 [公認 F]	(熊本県)
-------------	--------------------------------------	-------

～地図を手に、明日へと駆ける～

ジュニア世界オリエンテーリング選手権(JWOC2026)結果抜粋

2026 年 6 月 29 日 スプリント種目 M20 3.95km 177 人出走

順位	名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1	Matthieu Buehrer	SUI	13:56	3:31	97.5
74	八田 湘斗	JPN	16:21	4:08	114.4
101	佐藤 仁	JPN	16:54	4:16	118.3
108	加藤 遼	JPN	17:12	4:21	120.4
143	堀田 真敏	JPN	18:33	4:41	129.8
147	小坂 晁慧	JPN	18:42	4:44	130.9
-	金城 大武	JPN	mp	-	-

※ タイム比（上位 6 名の平均タイム 14 分 17 秒を 100 とした場合の割合）とペース（min/km、距離 3.95km で算出）は独自に計算したもので、以下同様です。リレーでは上位 6 チームの平均を 100 としたタイム比です。

※ mp は mispunched すなわち失格を意味します。

W20 3.43km 150 人出走

順位	名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1	Freja Hjerne	SWE	14:27	4:13	98.5
113	山本 美沙	JPN	19:08	5:35	130.4
121	高木 優彩	JPN	19:58	5:49	136.1
125	野村 優衣	JPN	20:09	5:52	137.3
137	尾本 絢子	JPN	21:51	6:22	148.9
144	寺岡 友愛	JPN	24:27	7:08	166.6

2026 年 6 月 30 日 スプリントリレー Mixed 27 チーム出場

国別順位	国名/選手名	タイム	タイム比
1	Switzerland	52:51	98.8
	Henriette Radzikowski	13:22	98.2
	Loic Berger	13:45	102.3
	Matthieu Buehrer	12:30	95.6
	Leonie Mathis	13:14	99
18	Japan 1	59:24	111.1
	山本 美沙	14:48	108.8
	金城 大武	13:58	103.9
	八田 湘斗	14:17	109.3
	高木 優彩	16:21	122.3
-	Japan 2	1:07:05	125.4
	野村 優衣	15:49	116.2

佐藤 仁	16:12	120.6
加藤 遼	16:02	122.7
寺岡 友愛	19:02	142.4

2026 年 7 月 1 日 ロング種目 M20 12.56km 177 人出走

順位	名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1	Matthieu Buehrer	SUI	1:14:20	5:55	94.8
91	堀田 真敏	JPN	1:51:07	8:51	141.7
122	金城 大武	JPN	2:16:56	10:54	174.7
124	八田 湘斗	JPN	2:18:55	11:04	177.2
131	佐藤 仁	JPN	2:47:41	13:21	213.9
-	加藤 遼	JPN	mp	-	-
-	小坂 晁慧	JPN	mp	-	-

W20 9.88km 150 人出走

順位	名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1	Freja Hjerne	SWE	1:11:11	7:12	93.3
121	山本 美沙	JPN	2:22:24	14:24	186.7
122	高木 優彩	JPN	2:22:43	14:26	187.1
131	野村 優衣	JPN	2:48:25	17:02	220.8
132	尾本 絢子	JPN	2:50:41	17:16	223.8
-	寺岡 友愛	JPN	mp	-	-

2026 年 7 月 3 日 ミドル種目 M20 4.50km 182 人出走

順位	名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1	Sondre Olaussen	NOR	22:38	5:02	96.8
115	堀田 真敏	JPN	33:25	7:26	142.9
117	加藤 遼	JPN	33:41	7:29	144
146	金城 大武	JPN	38:52	8:38	166.2
150	佐藤 仁	JPN	39:15	8:43	167.9
158	八田 湘斗	JPN	41:45	9:17	178.5
165	小坂 晁慧	JPN	49:31	11:00	211.8

W20 3.74km 151 人出走

順位	名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1	Felicia Persson	SWE	22:42	6:04	91.4
128	山本 美沙	JPN	43:34	11:39	175.4
142	野村 優衣	JPN	54:59	14:42	221.3

144	高木 優彩	JPN	57:19	15:20	230.7
148	尾本 絢子	JPN	1:12:26	19:22	291.5
-	寺岡 友愛	JPN	mp	-	-

2026 年 7 月 4 日 リレー種目 M20 33 チーム出場

国別順位	国名/選手名	タイム	タイム比
1	Sweden 1	1:43:08	95.4
	Edvin Johansson Liljegren	34:26	95.9
	Anton Jonsson	35:04	94.9
	Ludwig Rosen	33:38	95.6
28	Japan 2	2:43:03	150.9
	八田 湘斗	44:50	124.8
	佐藤 仁	1:02:16	168.5
	小坂 暁慧	55:57	159
-	Japan 1	2:57:18	164.1
	金城 大武	1:07:18	187.3
	加藤 遼	57:15	154.9
	堀田 真敏	52:45	149.9

W20 27 チーム出場

国別順位	国名/選手名	タイム	タイム比
1	Sweden 1	1:47:13	98
	Tilia Olsson	40:40	110.3
	Freja Hjerne	31:17	84.2
	Felicia Persson	35:16	99.8
21	Japan 1	3:20:01	182.9
	高木 優彩	55:05	149.4
	山本 美沙	57:46	155.4
	野村 優衣	1:27:10	246.7

世界オリエンテーリング選手権(WOC2026)結果抜粋

スプリント予選(7月7日)

男子 Heat1

順位	名前	国	タイム
1	Tino Polsini	SUI	0:14:25
15	Jason Wong	HKG	0:16:01
22	尾崎 弘和	日本	0:17:05

男子 Heat2

順位	名前	国	タイム
1	Isac Krusenstierna	SWE	0:14:17
15	Lukas Liland	NOR	0:15:33
15	Isak Fransson	CAN	0:15:33
21	平岡 丈	日本	0:16:07

男子 Heat3

順位	名前	国	タイム
1	Kasper H Fosser	NOR	0:13:45
15	Joseph Lynch	NZL	0:15:12
17	二俣 真	日本	0:15:28

女子 Heat1

順位	名前	国	タイム
1	Pia Young Vik	NOR	0:12:41
14	Ilze Jumike	LAT	0:13:52
14	Filipa Rodrigues	POR	0:13:52
17	柴崎 愛有	日本	0:14:35

女子 Heat2

順位	名前	国	タイム
1	Tereza Rauturier	CZE	0:12:48
15	Anna Groell	AUT	0:14:15
15	Ana D Cernicharo	ESP	0:14:15
21	桑原 唯歩	日本	0:15:01

女子 Heat3

順位	名前	国	タイム
1	Hanna Lundberg	SWE	0:12:15
8	近藤 花保	日本	0:12:56【通過】
15	Emma Waddington	CAN	0:13:28

スプリント決勝

女子 Heat1

順位	名前	国	タイム
1	Simona Aebersold	SUI	0:15:59
40	近藤 花保	日本	0:20:42

ノックアウトスプリント予選(7月9日)

男子 Heat1

順位	名前	国	タイム
1	Guilhem Verove	FRA	0:10:09
12	平岡 丈	日本	0:10:56【通過】

男子 Heat2

順位	名前	国	タイム
1	Tomas Krivda	CZE	0:10:01
12	Nicolas Kastner	AUT	0:11:25
20	二俣 真	日本	0:12:30

男子 Heat3

順位	名前	国	タイム
1	Kasper H Fosser	NOR	0:10:28
12	Sergei Rjaboshkin	EST	0:11:50
23	尾崎 弘和	日本	0:13:26

女子 Heat1

順位	名前	国	タイム
1	Simona Aebersold	NOR	0:10:05
12	Ana D Cernicharo	ESP	0:11:27
17	柴崎 愛有	日本	0:13:18

女子 Heat2

順位	名前	国	タイム
1	Hanna Lundberg	SWE	0:10:19
12	Boglarka Czako	HUN	0:11:15
21	桑原 唯歩	日本	0:12:26

女子 Heat3

順位	名前	国	タイム
1	Veera Klemettinen	FIN	0:10:29
12	Grace Molloy	GBR	0:11:19
20	近藤 花保	日本	0:12:23

ノックアウトスプリント準々決勝(7月10日)

男子 QF-3

順位	名前	国	タイム
1	Kasper H Fosser	NOR	0:06:58.2
5	平岡 丈	日本	0:07:45.7

混合スプリントリレー(7月11日)

順位	国名	タイム
1	スイス	1:03:14.70
2	スウェーデン	1:03:35.00
3	ノルウェー	1:03:53.50
12	日本	1:08:54.30
(1走:	近藤 花保	16:40.20
2走:	二俣 真	16:05.60
3走:	平岡 丈	17:23.70
4走:	桑原 唯歩	18:44.80)

以上